

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

財務情報

5カ年連結財務サマリー

	旧セグメント			新セグメント		(億円)
	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	
営業収益	3,779	3,829	4,133	4,403	4,326	
運輸サービス	1,809	1,764	1,837	1,850	1,737	
不動産・ホテル	620	674	694	726	907	
流通・外食	962	1,004	1,031	1,040	1,046	
建設	884	793	880	917	993	
その他	581	609	674	898	721	
営業利益(損失)	208	587	639	638	494	
運輸サービス	△105	257	292	274	198	
不動産・ホテル	204	226	232	237	191	
流通・外食	34	34	36	34	28	
建設	61	59	62	65	65	
その他	24	25	24	35	22	
EBITDA	691	732	818	854	750	
運輸サービス	270	285	343	344	295	
不動産・ホテル	284	311	320	331	305	
流通・外食	49	51	53	50	44	
建設	68	67	70	75	76	
その他	33	33	39	63	43	
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)	△4,330	447	504	492	314	
設備投資額(単体)	593	600	472	720	754	
減価償却費(単体)	293	70	96	118	154	
営業活動によるキャッシュ・フロー	634	285	876	414	604	
投資活動によるキャッシュ・フロー	90	△183	△683	△746	△769	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	△6	△91	56	33	
資産合計	6,466	6,766	7,493	8,014	8,285	
負債合計	3,409	3,282	3,661	3,807	4,102	
純資産合計	3,057	3,484	3,832	4,207	4,182	
1株当たりデータ(円)						
当期純利益	△2,706.81	279.70	315.07	307.75	198.16	
純資産	1,876.72	2,144.00	2,357.27	2,592.83	2,630.51	
配当金	—	38.50	83.00	93.00	93.00	
財務指標(%)						
自己資本比率	46.4	50.7	50.3	51.8	49.9	
営業利益率	5.5	15.3	15.5	14.5	11.4	
配当性向	—	13.8	26.3	30.2	46.9	
その他						
輸送人員(百万人)	330	331	337	338	337	
従業員数(人)	16,838	16,922	17,297	17,765	17,450	
発行済株式総数(千株)	320	160,000	160,000	160,000	157,301	

- (注1) 各セグメントの営業収益、営業利益(損失)、EBITDAは、セグメント間取引消去前のものです。
- (注2) 各セグメントのEBITDAは、営業利益に減価償却費を加えたものです。ただし、運輸サービスグループのEBITDAについては、2016年3月期は営業利益に減価償却費と経営安定基金運用収益を加えたものであり、2017年3月期以降は営業利益に減価償却費を加えたものです。
- (注3) 2016年8月18日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っています。「1株当たりの当期純利益」、「1株当たりの純資産」については、過去から当該株式分割が行われたと仮定し算出しています。
- (注4) 2016年3月期の連結の業績及び財政状態は、鉄道事業固定資産に係る減損損失の計上等による影響を受けております。
- (注5) 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年3月期の期首より適用しており、2018年3月期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を選り適用した後の指標等となっています。
- (注6) 当社は、2020年3月期より「株式給付信託(BBT)」を導入しています。2020年3月期の1株当たり純資産額の算定上、株主資本において自己株式として計上されている信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

財務情報

財政状態及び経営成績の分析

概要

当社グループは、九州で鉄道事業を行っており、同地域で最大の鉄道ネットワークを有しています。また、不動産の賃貸・販売業やホテル業、流通・外食業、建設業など、様々な非鉄道事業も行っています。これら非鉄道事業は、当社鉄道事業または「JR九州」ブランドが有する強みから生じる恩恵を直接的または間接的に受けています。2020年3月期の連結営業収益は4,326億44百万円、連結営業利益は494億6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は314億95百万円となり、連結EBITDAは750億90百万円となりました。

経営成績

営業収益

営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等による鉄道旅客運輸収入の減などにより、前期比1.8%減の4,326億44百万円となり、10期振りの減収となりました。

営業費

営業費は、前期比1.8%増加し、3,832億38百万円となりました。運輸業等営業費及び売上原価は、前期比0.1%増加し、2,734億円となりました。これは、建設業の売上増等によるものです。販売費及び一般管理費については、前期に比べ6.2%増加し、1,098億38百万円となりました。これは当社の税制特例措置廃止による租税公課の増加や減価償却費の増加等によるものです。

営業利益

営業利益は、前期比22.7%減の494億6百万円となりました。なお、営業収益に対する営業利益の比率は、前期の14.5%に対し、当期は11.4%となりました。

営業外損益

営業外収益は、前期比25.0%減の28億63百万円となりました。これは、当社の長期資金運用益の減等によるものです。営業外費用は、前期比42.3%増の16億55百万円となりました。これは支払利息の増等によるものです。

経常利益

経常利益は、前期比23.9%減の506億13百万円となりました。なお、営業収益に対する経常利益の比率は、前期の15.1%に対し、当期は11.7%となりました。

特別損益

特別損益は、前期に比べ54億21百万円悪化し、75億22百万円の損失となりました。これは、建造中の新型高速船「QUEEN BEETLE」の減損損失等によるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比36.0%減少し、314億95百万円となりました。

セグメント概況(営業収益)

運輸サービスセグメント

運輸サービスセグメントは、前期に比べ4.5%減の1,737億30百万円となりました。これは、当社の鉄道旅客運輸収入が、新幹線及び在来線における新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、前期に比べ2.7%減の1,473億81百万円となったことなどによるものです。新幹線については、輸送人キロは前期比4.0%減の19億50百万人キロとなりました。定期収入は前連結会計年度に比べ2.9%増の28億17百万円、定期外収入は前連結会計年度に比べ5.2%減の495億7百万円となり、全体では前期比4.8%減の523億25百万円となりました。在来線については、輸送人キロは前期比2.0%減の71億8百万人キロとなりました。定期収入は前期比0.2%増の297億79百万円、定期外収入は前期比2.3%減の652億76百万円、全体では前期比1.5%減の950億55百万円となりました。

建設セグメント

建設セグメントは、前期比5.9%増の993億85百万円となりました。これは、九州新幹線西九州ルートに関連工事の増などによるものです。

不動産・ホテルセグメント

不動産・ホテルセグメントは、前期比0.8%増の907億79百万円となりました。これは、「THE BLOSSOM HIBIYA」や「THE BLOSSOM HAKATA Premier」の開業などによるものです。

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

財務情報

流通・外食セグメント

流通・外食セグメントは、前期比0.6%増の1,046億57百万円となりました。これは、店舗数増に伴うファーストフード店舗の収入増などによるものです。

その他セグメント

その他セグメントは、前期比0.7%減の721億91百万円となりました。これは、リース・割賦事業の譲渡などによるものです。

財政状態の分析

当期末の資産の部の合計額は、前期末に比べ3.4%増加し、8,285億90百万円となりました。流動資産は、有価証券の減等により前期末に比べ11.2%減少し、1,612億93百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増等により前期末に比べ7.7%増加し、6,672億97百万円となりました。

一方、負債の部の合計額は、前期末に比べ7.8%増加し、4,102億91百万円となりました。流動負債は、1年内返済予定の長期借入金の増等により前期末に比べ16.2%増加し、2,002億48百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減はあったものの、社債の発行等により前期末に比べ0.8%増加し、2,100億43百万円となりました。

また、純資産の部の合計額は、前期末に比べ0.6%減少し、4,182億98百万円となりました。これは、配当金の支払や自己株式の取得及び消却等によるものです。

キャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の回収による増等により前期に比べ189億94百万円増加し、604億68百万円

となりました。

投資活動の結果支出した資金は、固定資産の取得等により前期に比べ23億24百万円増加し、769億43百万円となりました。

財務活動の結果得られた資金は、配当金の支払等により前期に比べ22億75百万円減少し、33億69百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期末に比べ130億47百万円減少し、238億17百万円となりました。

配当政策

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けており、株主還元については長期安定的に行っていくことが重要と考えています。2022年3月期までの間は、1株当たり配当金93.0円を下限として、連結配当性向35%を目安に配当を行います。加えて、資本効率の向上を図るため、状況に応じて自己株式取得を行います。この方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、経営成績等を総合的に判断し、1株当たり46円50銭としました。また、これに中間配当金1株当たり46円50銭を加えた年間配当金は1株当たり93円となりました。なお、内部留保資金については、安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かしたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献するため、鉄道設備等の維持・更新への投資及び成長投資に充当していきます。

また、当社は取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回に分けて剰余金の配当を行う方針です。毎年の剰余金の配当の決定機関は、中間配当については取締役会、期末配当については株主総会です。

事業等のリスク

当社グループは、九州新幹線をはじめとした九州主要都市間を結ぶ鉄道ネットワークを有しており、鉄道事業に加えて、鉄道事業との相乗効果の高い不動産業（駅ビル商業施設、マンション、ホテル等）、小売業及び飲食業等について九州を中心に展開しています。

本報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。

なお、これらは当社グループに関するすべてのリスクを網羅したものではなく、2020年3月末時点において当社グループが判断したものであります。

事業等のリスク

1. 感染症に関する事項
2. 少子高齢化等の人口動向に関する事項
3. 自然災害等に関する事項
4. 経済動向や国際情勢に関する事項
5. 中期経営計画に関する事項
6. 情報技術(IT)上の問題に関する事項
7. 個人情報保護に関する事項
8. 競合に関する事項
9. 保有資産の価値に関する事項
10. 外部委託先や取引先に関する事項
11. 環境規制に関する事項
12. 運輸サービスグループに関する事項
13. 不動産・ホテルグループに関する事項

(詳細は有価証券報告書「事業等のリスク」をご参照ください)

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

財務情報

連結貸借対照表

九州旅客鉄道株式会社及び連結子会社

(百万円)

	2019/3月末	2020/3月末
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,971	23,817
受取手形及び売掛金	52,275	38,707
未収運賃	2,732	4,126
有価証券	19,926	—
商品及び製品	21,809	19,702
仕掛品	22,703	28,364
原材料及び貯蔵品	6,819	7,574
その他	38,485	39,082
貸倒引当金	△95	△82
流動資産合計	181,627	161,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	241,558	268,654
機械装置及び運搬具(純額)	31,607	32,578
土地	129,344	147,736
リース資産(純額)	14,909	19,953
建設仮勘定	35,843	40,133
その他(純額)	8,057	8,935
有形固定資産合計	461,321	517,992
無形固定資産	5,215	6,280
投資その他の資産		
投資有価証券	24,403	38,835
繰延税金資産	55,086	51,768
退職給付に係る資産	882	720
その他	74,362	52,537
貸倒引当金	△1,416	△838
投資その他の資産合計	153,318	143,024
固定資産合計	619,855	667,297
資産合計	801,483	828,590

(百万円)

	2019/3月末	2020/3月末
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,132	32,460
短期借入金	9,002	10,572
1年内返済予定の長期借入金	3,845	30,421
未払金	57,139	63,841
未払法人税等	5,573	3,666
預り連絡運賃	1,731	1,175
前受運賃	5,821	4,720
賞与引当金	8,996	8,922
その他	47,072	44,467
流動負債合計	172,314	200,248
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	75,119	60,556
リース債務	5,424	10,482
安全・環境対策等引当金	1,879	1,609
災害損失引当金	4,613	1,732
退職給付に係る負債	58,803	53,801
資産除去債務	1,603	1,690
その他	40,981	40,171
固定負債合計	208,425	210,043
負債合計	380,739	410,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,000	16,000
資本剰余金	233,983	224,024
利益剰余金	160,558	176,329
自己株式	—	△599
株主資本合計	410,541	415,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,677	4,422
繰延ヘッジ損益	129	15
為替換算調整勘定	112	158
退職給付に係る調整累計額	△7,608	△7,057
その他の包括利益累計額合計	4,312	△2,461
非支配株主持分	5,890	5,004
純資産合計	420,743	418,298
負債純資産合計	801,483	828,590

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

財務情報

連結損益計算書

九州旅客鉄道株式会社及び連結子会社

(百万円)

	2019/3期	2020/3期
営業収益	440,358	432,644
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	273,001	273,400
販売費及び一般管理費	103,471	109,838
営業費合計	376,473	383,238
営業利益	63,885	49,406
営業外収益		
受取利息	69	71
受取配当金	397	443
金銭の信託運用益	1,849	1,330
雑収入	1,501	1,016
営業外収益合計	3,817	2,863
営業外費用		
支払利息	945	1,298
雑損失	217	357
営業外費用合計	1,163	1,655
経常利益	66,539	50,613
特別利益		
工事負担金等受入額	16,360	29,419
その他	2,199	5,055
特別利益合計	18,560	34,475
特別損失		
固定資産圧縮損	16,176	29,333
減損損失	910	7,939
災害による損失	847	682
災害損失引当金繰入額	446	686
その他	2,281	3,355
特別損失合計	20,661	41,997
税金等調整前当期純利益	64,438	43,091
法人税、住民税及び事業税	10,060	6,916
法人税等調整額	4,666	4,181
法人税等合計	14,727	11,097
当期純利益	49,711	31,993
非支配株主に帰属する当期純利益	471	498
親会社株主に帰属する当期純利益	49,240	31,495

連結包括利益計算書

(百万円)

	2019/3期	2020/3期
当期純利益	49,711	31,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,678	△7,272
繰延ヘッジ損益	176	△114
為替換算調整勘定	△23	60
退職給付に係る調整額	562	533
その他の包括利益合計	2,394	△6,792
包括利益	52,105	25,200
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	51,657	24,722
非支配株主に係る包括利益	448	478

はじめに
ダイジェスト財務・非財務
ハイライト価値創造の歴史
価値創造プロセス社長メッセージ
CFOメッセージ中期経営計画の進捗
特集

マテリアリティ

コーポレート
ガバナンス安全・サービス
人づくり地域を元気に
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報
財務情報会社概要
投資家情報

財務情報

連結キャッシュ・フロー計算書

九州旅客鉄道株式会社及び連結子会社

(百万円)

	2019/3期	2020/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	64,438	43,091
減価償却費	21,928	26,748
減損損失	910	7,939
固定資産圧縮損	16,176	29,333
災害損失	847	682
災害損失引当金の繰入額	446	686
貸倒引当金の増減額(△は減少)	542	△516
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,910	△4,527
安全・環境対策等引当金の増減額(△は減少)	△1,318	△270
受取利息及び受取配当金	△467	△515
支払利息	945	1,298
工事負担金等受入額	△16,360	△29,419
災害に伴う受取保険金	△1,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,881	6,160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,154	△3,940
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,709	△1,672
金銭の信託運用益	△1,849	△1,330
その他	△5,970	△366
小計	54,612	73,378
保険金の受取額	1,000	—
利息及び配当金の受取額	476	507
利息の支払額	△872	△994
金銭の信託運用益の受取額	1,853	1,394
災害損失の支払額	△3,205	△4,422
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,389	△9,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,473	60,468

(百万円)

	2019/3期	2020/3期
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△105,937	△109,947
有価証券の償還による収入	15,600	—
投資有価証券の取得による支出	△2,552	△21,706
金銭の信託の売却による収入	—	12,259
工事負担金等受入による収入	15,253	17,998
短期貸付金の回収による収入	0	16,647
その他	3,016	7,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,619	△76,943
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,544	995
長期借入れによる収入	2,051	15,550
長期借入金の返済による支出	△5,793	△4,034
長期未払金の返済による支出	△341	△345
社債の発行による収入	20,000	20,000
預り敷金及び保証金の受入による収入	1,420	1,380
預り敷金及び保証金の返還による支出	△1,104	△937
自己株式の取得による支出	—	△10,598
配当金の支払額	△13,680	△15,680
非支配株主への配当金の支払額	△54	△72
その他	△1,397	△2,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,644	3,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,514	△13,047
現金及び現金同等物の期首残高	64,379	36,865
現金及び現金同等物の期末残高	36,865	23,817